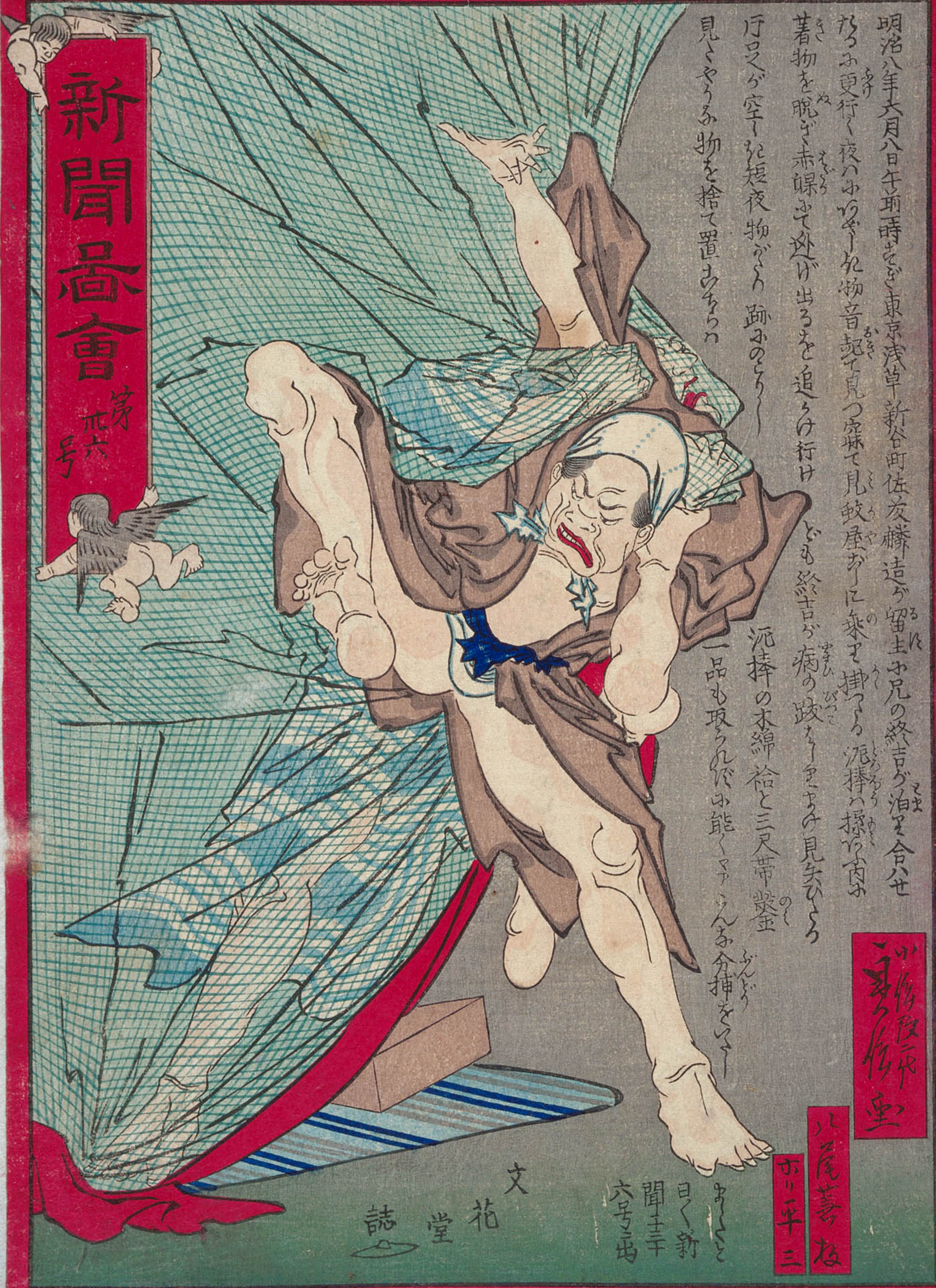


新聞會

第 卅六 号



明治八年六月八日午時を以て東京浅草新谷町佐友藤造が留守の終吉が泊り合せ
たふ更行夜の中より物音起て見つ寐て見蚊屋かすに乗掛り泥棒の操り由
著物を脱ぎ赤裸の処へ出るを追ふに行けとも終吉が病の跋をうきまみ見失ひ
行只が空に短夜物がらん跡のり
見やくふ物を捨て置まらる

泥棒の本綿袴と三尺帯
一品も取られぬ能く
せんか全捕を

小幡政三郎

八尾善太郎

ホリ平三

文 花 堂 誌

日新
聞
六号

新聞図会36号 文庫10-8069-29

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library

